

# バレエ界の至宝 マニユエル・ルグリ

—世界最高峰のダンサーと 奏でるルグリの最終章—



パリ・オペラ座

幻の名演

ルグリ&ゲラン『アルルの女』が蘇る!!

全演目決定!!  
チケット  
好評発売中

## LEGRIS GALA

un destin... "La Danse"

### ルグリ・ガラ

～運命のバレエダンサー～

2017 8.19 (土) 14:00開演 フェスティバルホール

S席¥14,000 A席¥11,000 B席¥8,000 C席 完売 BOX席 完売 バルコニーBOX(2席セット) ¥28,000 [全席指定・税込]  
※バルコニーBOX(2席セット)はフェスティバルホール チケットセンター(電話・窓口)のみの取り扱い。

ご予約・お問合せ フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (営業時間10:00~18:00)  
フェスティバルホール オンラインチケット <http://www.festivalhall.jp> (要事前登録)



マリアネラ・ヌニェス  
ワディム・ムンタギロフ  
英国ロイヤルバレエ団

オルガ・スミルワ  
セミヨン・チュージン  
ロシア国立バレエ

主催:関西テレビ放送  
フェスティバルホール  
協力:ダンスウエスト  
後援:オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム  
制作:フジテレビジョン  
企画協力:ベルチェ・アソシエイツ  
オフィシャルエアライン:ルフトハンザ ドイツ航空



ロイヤル、ポリショイ、ウィーン...

# ルグリが今最も愛する才能たちが集結する百花繚乱のガラ公演



**デニス・チュエヴィチコ**  
ウィーン国立バレエ団 プリンシパル

情熱的で洗練とした個性は若手の頃から目を引いたが、ルグリの指導のもとで近年飛躍を遂げ、正統派の古典から現代作品まで確実に踊りこなすダンサーへと成長した。今やプリンシパルとしてバレエ団を牽引する存在ともなっている。

**オルガ・スミルノワ**  
ポリショイ・バレエ プリンシパル

昨年プリンシパル昇格を果たしたポリショイ新時代の女王。長い手脚とミステリアスな美貌に、圧倒的なテクニックとドラマティックな表現力を備える。王道の古典から現代作品まで幅広くこなし、マイヨール世界的振付家が彼女のために作品を創っている。



**マヌエル・ルグリ**  
ウィーン国立バレエ団 芸術監督  
元パリ・オペラ座バレエ団 エトワール

パリ・オペラ座の一時代を築いた大エトワール。2009年の引退後はウィーン国立バレエ団を率い、バレエへの飽くなき情熱と類稀な芸術性により同団の変革を成し遂げてきた。男性ダンサーの見本と称されてきた無二の才能は健在、今なお観客を魅了してやまない。ダンサーとしての最終章のひとつと本人が位置付けるこの公演でも、今なお進化するルグリに出会えるはずだ。



**イザベル・ゲラン**  
元パリ・オペラ座バレエ団 エトワール

ヌエフ世代を代表するエトワールとしてルグリと共にオペラ座の黄金時代を築いた名花ゲランが、ルグリの勧めにより12年ぶりに日本の舞台へと返り咲いたのは2015年のこと。本公演では、深い感動を呼んだあの奇跡のパートナーシップが再び!

**マリアネラ・ヌニェス**  
英国ロイヤル・バレエ団 プリンシパル

わずか20歳にして英国ロイヤル・バレエ団のプリンシパルの座を得てから15年、今や同団を牽引するバレリーナである。舞台を華やかに照らす陽のオーラ、持ち前の強靱なテクニックに加え、表現においても近年ますます多層的な深まりをみせ、成熟を極めている。



**ニーナ・ポラコワ**  
ウィーン国立バレエ団 プリンシパル

ルグリがウィーン国立バレエ団芸術監督に就任した翌2011年にプリンシパルへ昇格。マン・オ・ネーギンなどドラマティックな役柄で強い存在感を示す一方、フォーサイズ、ロビンズ、サーブ等、現代振付家の作品においても高い評価を誇る。



**セムジョン・チュージン**  
ポリショイ・バレエ プリンシパル

モスクワ音楽劇場から移籍して5年、今や名実共にポリショイを代表するトップダンサーへと上り詰めた。抜群のスタイルと美しい脚のラインから生まれる軽やかで切れのいい踊り、優雅さと気品...「ロシアが誇る最高のダンスール・ノーブル」として、ルグリの評価も絶大だ。

**ダヴィデ・ダト**  
ウィーン国立バレエ団 プリンシパル

ルグリに注目され、昨年ついにプリンシパルに昇格。切れのいいテクニックを武器とし、ルグリ版『海賊』のビルバントや『ライモンダ』のアブデラフマンなどキャラクター性の強い役柄において定評があるだけでなく、現代作品、古典作品ともに主演を務める。CMへの出演などモデルとしても活躍。

**ワディム・ムンタギロフ**  
英国ロイヤル・バレエ団 プリンシパル

ルグリが「今最も素晴らしいダンスール・ノーブル」と評する若きスター。イングリッシュ・ナショナル・バレエで活躍後、2014年に英国ロイヤル・バレエ団へプリンシパルとして移籍。生まれながらの気品と確かなテクニックを兼ね備えた彼はまさに理想のプリンス。



**ニーナ・トトリ**  
ウィーン国立バレエ団 ソリスト

2016年よりソリスト。少女のような可憐さと清潔なテクニック、ロイヤル・バレエ・スクール仕込みのナチュラルな演技力が魅力。最近では『ラ・フィユル・マル・ガルデ』のリーズ役に抜擢された。



**ナターシャ・マイヤー**  
ウィーン国立バレエ団 ソリスト

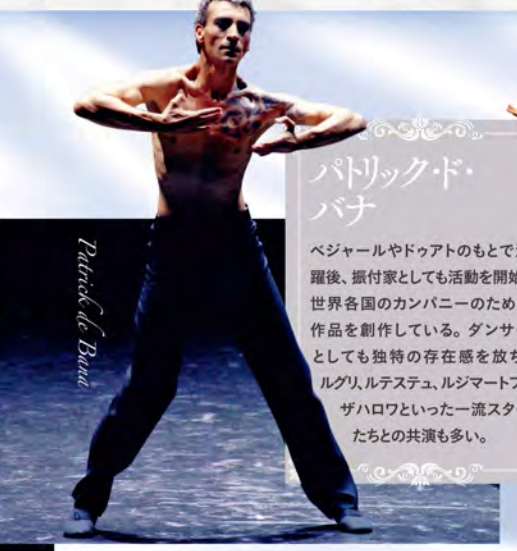
柔軟な身体を生かした華やかなテクニックを持ち味とし、ルグリ版『海賊』のグルナラを踊り高い評価を得た。2016年よりソリスト。ヤコブと共に、ウィーン国立バレエ学校出身として同バレエ団の次世代を担う存在として期待が高まる。



**ジェームズ・ステファン**  
ウィーン国立バレエ団 デミ・ソリスト

ロイヤル・バレエ・スクールで学んだのち、ウィーン国立バレエ団に入団。まだデミ・ソリストの階級ながら今回ルグリが唯一白羽の矢を立てた、将来を期待されるダンサー。

**エレナ・マルティン**  
スペイン国立バレエ団、ラファエル・アギラル・スペイン舞踊団のプリンシパルを務めるなど、スペイン舞踊界の第一線で活躍。ジャンルを超えた交流も多く、ルグリのグループ公演にも招かれて、来日している。



**パトリックド・バナ**

ベジャールやドゥオットのもとで活躍後、振付家としても活動を開始。世界各国のカンパニーのために作品を創作している。ダンサーとしても独特の存在感を放ち、ルグリ、ルテステュ、ルジマートフ、ザハロワといった一流スターたちとの共演も多い。



**ヤコブ・フェイフェリック**  
ウィーン国立バレエ団 ソリスト

ルグリが「未来のプリンシパル」と確信する20歳の新鋭。コール・ドからソリストへと飛び級で昇格した昨年は、『ライモンダ』初日の主役にも抜擢された。美しい肢体と優雅な踊りがひときわ目を引く逸材。



**ニキーシャ・フゴ**  
ウィーン国立バレエ団 ソリスト

ロイヤル・バレエ・スクールで学び、2016年よりソリストとして活躍。バランシンの『タランテラ』をはじめ、フォーサイズ、ド・バナなど多彩な作品で個性を発揮している。

並ぶ者なき現代最高の至宝マヌエル・ルグリ。「私が舞台に立つのは最後となるかもしれない」と語り、自らのバレエ人生における一つの集大成とも位置付ける本公演では、ダンサーとしてはもちろん、芸術監督として、そして振付家として、卓越した芸術性を有する彼ならではの審美眼により選りすぐられたスターダンサーたちが国境を超えて集結。バレエの殿堂——英国ロイヤル・バレエ団、ポリショイ・バレエ、そしてルグリのもと近年劇的な進化を遂げているウィーン国立バレエ団が誇る百花繚乱の才能が、バレエ芸術のあらゆる魅力を堪能させる至極のガラを、どうぞお見逃しなく!



